

平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 子育て 施策番号 3-2 1-3 局・課名： 子ども青少年局 子ども家庭課

事業名	発達障害者(児)支援事業	事業費(千円)	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額	
			22,447	32,372	31,574	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	H ~ H					
	発達相談の実施により早期発見・早期支援を推進し、就学移行支援を行うことにより、学校での二次的な不適応を予防し、児童の健全育成をより一層推進する。また、不安を持ち、孤立しがちな養育者に対する子育て支援を行い、虐待予防を図る。あわせて、発達障害に対する正しい理解の普及や関係機関の連携強化を図る。 【内容】 発達支援コーディネーターにより、発達障害児とその家族を支援するとともに、地域の機関等からの相談・助言をうけ支援体制のサポート強化を行う。 また、より充実した支援を行うために、個別支援ファイル「あいふあいる」の活用を推進し、関係機関の連携を強化する。 ○4・5歳児発達相談、養育者勉強会(短縮版ペアレントトレーニング)、フォローアップの会、啓発(発達障害啓発週間・ホームページでの情報提供等) ○個別支援ファイル「あいふあいる」活用セミナー(支援機関対象) 【今年度要求のポイント】 継続し実施するために必要な費用を要求する。	主な要求内容		(単位:千円)		
		項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等	
		報酬	14,076	14,220	発達支援コーディネーター(心理士4名)	
		謝礼金	2,674	1,833	発達相談医師1,800千円、「あいふあいる」セミナー33千円	
		費用弁償・旅費	1,136	1,136	非常勤通勤費648千円、研修401千円、市内等87千円	
		発達障害児(者)支援事業委託料等	14,000	14,000	発達相談・養育者勉強会・啓発等	
		その他	486	385	消耗品、通信運搬費、会場費、研修参加負担金等	
		合計	32,372	31,574		
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～26年度)】		【27年度】		【今後予定(28年度～)】		
H18～21「発達障害児支援研究事業」委託 H22から発達相談・養育者勉強会を全市拡大し実施 H26年度相談実施回数増		継続実施		国庫事業を基本に、市民及び関係機関のニーズを踏まえ、継続実施		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業:						

整理番号： 14 - 3 - 0460